

にじだより

NIJIDAYORI

別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじ 広報誌

第25号2024年4月



- ▶ 補装具チェック～ 杖、歩行器、装具、車椅子
- ▶ にじOB座談会
- ▶ クッキー作り、新職員の紹介



補装具チェック

にじでは定期的に補装具チェックデーを設けています。

利用者様が日々使用されている杖・歩行器・装具・車椅子といった補装具のメンテナンスや清掃を行っています。これは、補装具の不具合が原因で起こり得る事故を未然に防ぐ事が主な目的です。

メンテナンスは職員が担当しますが、受付や車いす清掃作業は訓練の一環として、利用者様に担当していただきます。それぞれ障害の状態に合わせ、椅子に座って作業したり、片手で器用に隅々まで拭き上げたり、みなさん汗をかきながら一生懸命働いてくださいました。スタッフも大変助かりました。



⑥完成



①受付



⑤確認



②点検
(杖・装具)



④清掃



③点検
(歩行器
車椅子)



入所中の補装具の不具合は職員がお手伝いできますが、退所しご自宅に戻られた後には不具合に気付いて受診し相談するなどご自身で対応していく必要があります。

今回の補装具チェックデーが、ご自身の補装具に向き合う機会となり、汚れた眼鏡を毎日磨くように、補装具も大事な相棒として目をかけ、手をかけるきっかけになればと考えています。

にじのOB座談会

にじ座談会「障害を持って働くこと」 ー前半ー

現在別府リハで働く「にじ」OBの皆さんに、“にじ”の思い出や、今の仕事や生活について、座談会という形でお話を伺いました。思い出話など大変盛り上がり、1回では終わらず延長となりました。今回はその前半部分をお伝えします。



Q【にじの思い出】

Nさん : 「就労移行支援の訓練が楽しかったです。特に他の利用者さんとのバカ話が(笑)」

Kさん : 「自分は障害が治ると思って他県から来たので、治らないとわかって最初は絶望してました。そんな時、ニコニコして活動しているNさんを見て、「どうしてそんな笑顔でいられるの?」と思ってたけど、「頑張らんといけん」と思うことができました。

Nさん : 「え~! そうだったの?」 (照)

Gさん : 「Nさんはどうしてそんなに笑顔でいられたの?」

Nさん : 「病気で倒れたけど、生き残って、命をもう一個もらったと思ってたからかな」

全員 : 「うーん、すごい!」

Wさん : 「僕も就労の訓練が楽しかった。みんなと話して」

Gさん : 「失語のあるWさんにも容赦なく話しかけて会話してたもんね」

Wさん : 「うんうん」 (苦笑)

Gさん : 「やはり仲間がいて話せていたことが一番大きいかな。コロナ前で土日の外出も出来たから、ストレスなく生活できていたかもですね」



Q【訓練について】

Nさん : 「身体機能が良かった。体力がつかました」

Kさん : 「にじの訓練と併用して使える外来STの訓練も受けて、声が出て話せるようになったのが良かった」

Wさん : 「どの訓練も必要だった」

Gさん : 「学習とか頭がこんがらがったりしてイライラする事なかった?」

Kさん : 「最初の頃はあったかも」

Nさん : 「でも“訓練”だから続けられたと思う。1人だったらやめてる(笑)」

Gさん : 「私は郵便実習が役立ちました。実社会に近づけて緊張感を持ってできたので」

Wさん : 「でも苦手な訓練もあったよね」

全員 : 「そうそう(笑)」

思い出は尽きませんが、今回はこのへんで。

次回は、現在の仕事や生活に焦点を当ててお話し頂きます。

生活での困りごとや楽しみ、そして将来についてなど...

ご期待ください。





クッキー作り



2月のレクリエーションはクッキー作りを開催しました。
クッキー作りは、棒や手を使って生地を広げる作業や型抜きなど
手先を使うことも多く、指先の運動になります。
片麻痺の方は片手作業でしたが、みなさん工夫して作業をされていました。

また、チョコペンやアイシングでデコレーションもしました。
クッキーに顔や文字、模様を描いて、自身のオリジナルクッキーを作りました。
可愛らしい美味しそうなクッキーに仕上がっていました。



いよいよオーブンでの焼き作業。この焼き加減が難しく、少し焦げた
クッキーもありましたが、そこはご愛敬。焼き上がりの香りに
「いい香りだね」とみなさん頬をゆるませていました。
お菓子作りは、焼き上がりの香りや味わい、食感などの五感を刺激されます。
五感が刺激され癒しの時間でもあったのではないのでしょうか？



この日は午後から「お茶会」も実施。感染予防のため、
みなさんで一緒には食べることはできませんでしたが、
クッキー作りに参加されなかった利用者さまにもお配りしました。
「ありがとう」「かわいい形♡」といった会話が飛び交っていました。

新職員紹介

- ①仕事内容 ②出身 ③休みの日の過ごし方 ④座右の銘 ⑤抱負を一言！



佐藤義智

- ①社会復帰に向けた訓練プログラム提供の支援 ②豊後高田市
③実家の豊後高田市に帰ったり、別府の自分のガレージで車やバイクの整備を
したり、パソコンなどいじっています。相撲と自動車レースの観戦も好きです。
④Never leave that till tomorrow which you can do today
(今日できることは明日に延ばすな)
ベンジャミン・フランクリンの言葉を日々心掛けています。
⑤久しぶりに現場で利用者の皆さまの訓練のお手伝いをしますが、別府リハを
利用して本当に良かったと思って頂けるような関わりをしていきたいと思えます。



金丸二郎

- ①支援員 ②大分市
③健常者の頃は釣り、現在は趣味を模索中！（左手足に麻痺があります）
④「もらった恩は岩に刻め、与えた恩は水に流すべし」 山本五十六
⑤一所懸命に頑張ります！

【にじ入所の対象となる方】

- 18~65歳くらいまでの方 ○おおむねトイレが自立されている方
○常時医療行為が必要のない方 ○集団生活ができる方
○障害者手帳をお持ちの方、または申請予定の方
(手帳をお持ちでない方もお気軽にお問合せください)

